２０２１年６月２０日発行

東村山三田会 Vol.12

発行人：紿田俊哉　編集人：東村山三田会会報編集委員会

第７回定期総会が開催されました

会長　紿田　俊哉

塾歌静聴

コロナ禍の全く収まらぬ大変厳しい状況が続いておりますが、会員の皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？　謹んでお伺い申し上げます。

4 月 17 日、当会定期総会が開催され、ご出席の方々のお元気な姿にお会いする事が出来ました。

ただ、恒例の総会後の懇親会は行なわず、会議のみの開催となりました。

当会執行部にとり 2020 年度は 3 年目の 1 年間でしたが、昨年春より現在も続くコロナ禍で、誠に残念ながら、計画しておりました、ほとんどの行事を中止せざるを得ない結果となりました。

そのような中でしたが、社会貢献の一環として、連合三田会への 3 万円の寄付と、新たに母校、慶應義塾大学への 10 万円の寄付を実施致しました。又、例年に続き、地元の若い音楽家（ピアニスト 2 名、ソプラノ歌手 1 名）の「地元の子供たちに生の演奏を届けたい、気楽にクラシック音楽を聴いて楽しんで欲しい」との趣旨で 10 年前に結成された DUO の会のコンサートに、例年通り、経済的・人的サポート及び賛助出演を実施することが出来た次第です。会員数につきましては、この一年について、期初の 78 名より実質で 6 名増え、期末では新たに設置した準会員の参加 4 名を含めて総勢 84 名となりました。

さて、2021 年度の当会の活動につきましては、すでに詳細につきまして、当会事務局より定期総会開催直後に mail 添付若しくは郵送にてご報告いたしました通り、昨年度実施できなかった各種行事について、基本としてはすべて実

施する方針で取り進めたいと考えております。

他方、まん延防止等重点措置や、緊急事態宣言の発令の更なる追加も無きにしも非ずであり、基本的には「会員の皆様の健康を最優先する」との考えに立って進めてまいる所存です。

正直なところ、ワクチン接種が進まぬ限り、コロナ禍からの脱出は不可能ではないかと思います。東村山市のHPにはワクチン接種等の詳細が掲載されていますので適宜ご参照下さい。

役員退任お疲れ様

十分なワクチン供給が確保され、先ずは一日も早く東村山市に於ける65歳以上の40,000人強の方々の接種が終わり、次の世代の接種拡大へと繋がることを大いに期待したいものです。

何れにしましても個人的には一日も早くワクチン接種を受け、自ら及び周囲への感染防止に努めねばと思っております。

最後になりますが、会員の皆様におかれましては、どうぞご家族を含めてくれぐれもご健康維持にご配慮頂き、明るくお元気な生活を維持されますようお願い致します。又、当会へのご理解、ご協力を引き続きよろしくお願い申し上げます。

第9回デュオの会

令和2年10月18日(日)、第9回「デュオの会コンサート」が開催されました。

夏には終息と思っていたコロナ感染は拡大、中止も覚悟しましたが、主催者の熱意もあり、座席を半分以下、万全な感染対策を条件に開催を決定しました。

人数制限をするため、ポスター・チラシは富士見公民館、中央公民館の2か所のみ用意しましたが、公共施設の行事は軒並み中止か延期となり、訪れる市民は少なく、チラシが減らず、ため息ばかりでした。

マスクでお迎え

コロナ下で、チケットも会員や知人に無理にお願いすることもできず、無観客に近い寂しいシーンが浮かびました。

ところが、常連客と思しき方々からの予約が想像以上に入り、当会手持チケットも補充、60席予定の座席は1週間で最大許可席数の77席となり、慌ててポスターに「満員御礼」の付箋をすることになりました。

給田会長のヴァイオリンファンも確実に増えていることも判明し、会としての貢献が顕著になりました。

感染防止策として、マスクの着用、入場前に手の消毒、チケットの捩ぎり中止、入場・退場時の混雑防止、合唱の中止、ドアの開放などを行いました。

マウスシールドを付けてのソプラノは、歌い手が上手なせいか、特に違和感はありませんでした。

今年は、唱歌、童謡、映画音楽等の演奏があり、特に紿田会長が弾いた「太陽がいっぱい」に感動しました。

新型コロナの影響下、演奏時間は途中休憩なしの 1 時間となり、中島みゆきの「時代」の演奏で幕を閉じました。

本年は、第 10 回記念演奏会として 10 月 31 日（日）に開催いたします。

新型コロナ感染が終息するよう願うばかりです。

会員の皆様には、だまされたつもりで、一度はご参加ください。

＜斉藤　忠義　記＞

お家でハイクィング

川柳との違いもよく分からなかった私が、俳句を始めたのは、妻に誘われこの三田会の俳句同好会に渋々と参加したのがきっかけだった。

句会（三田会俳句同好会）の会員は１０名。毎月兼題が決まり、3 句を投稿、公民館で約 2 時間句会を開催する。一番を「天」として好きな句を 4 句選び、選んだ理由をコメントしていく。倍率 0.75 倍で楽勝と思い参加した初日、自己紹介で顔ぶれに驚いた。俳句に造詣の深そうなベテランの方々ばかり。古文が大嫌いで、文系でも入試に古文のないこの大学を選んだ私には場違いだと気づいたが、後の祭りだった。

選句の発表では、擦りもせず三球三振。コメントが皆から述べられ、鳥肌ものの大ディスカッション大会が始まる。作者の観点に共鳴する者、全く違う視点から更に踏み込んで捉えていく者。語順や助詞が大切な働きをしたり、何気ない言葉が別の季節を表す季語だったりで、眼から鱗だ。辛口ではあるが、皆赤ペン先生の如く真摯に改善を図っていく。私のダメ句に対しても、容赦ないコメントの嵐。終わる頃にはへとへとだが、なぜかサウナで汗をかいた後のように身が軽やかになる。この解放感を味わい、病みつきになった。

短い言葉で人に思いや感覚を伝える事の難しさ。伝わった時の快感。気づいたら四六時中、俳句を考えている自分がいた。通勤電車、布団の中、仕事中も指折り数えて５７５。スマホを片手に季語を探し、類句を調べ、思いついた句を保存する。こんな作業を繰り返し、句会に足しげく参加するうちに、句が選ばれ、皆から「天」を頂けるようになると有頂天となった。自分が次第に俳句に占領されてくる。昨年、仕事の関係でＴＢＳの俳句番組で人気の夏井いつきさんにインタビューさせて頂く機会を得た。彼女も教員時代の飲み会の座席を決める「くじ」で使ったのがきっかけというひょんなことから俳句と出合ったという。五感全体

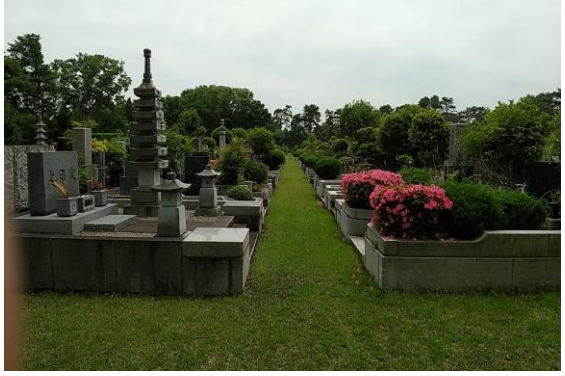
で季語を体験するのが俳句の基本だといつきさんは語る。コロナ禍でなかなか外出できない昨今だが、ご近所や家の中にも俳句の種は山ほどある。メモ帳とボールペン一本、それに好奇心があれば何もかもが句材になるという。俳句を通した社会や人との関わり方、俳句の可能性の広がりを真剣に語る彼女の熱い涙を目の当たりにし、もらい泣きした。この時、少しだけ俳句をかじってきて良かったなぁとしみじみと思った。

句会に参加して、自分が言葉や助詞の意味や語順、季節の兆しなどに関心を持つようになった事に気づく。自分より遥か年上の方々の柔軟さ、貪欲さ、謙虚さにも驚かされる。お元気な諸先輩の姿を見ていると勇気が湧いてくる。この会は、コロナ禍でも公民館等で密を避けながらしっかりと静かに継続している。ここでの仲間との繋がりが、自分を「自己満足」から「切磋琢磨」の境地に招いてくれる。

俳句は、わび茶や枯山水同様、引き算の美学。偶然、この会に出合えた事に感謝する。

＜丸　弘之　記＞

私の散歩コース



多摩湖の散策ルート

東日本大震災の直前に慶應病院で人工関節全置換手術を行い、その後、骨粗鬆症で腰椎の 3 本が圧迫骨折しており、寝たきり老人リスクが高いと感じ、1 日 6,000 歩程度の散歩を継続しています。

主たる散歩道は、多摩湖サイクリング道路です。

数年前に専用歩道が併設され、老人も安心の散歩コースになりました。

100mごとに距離標識があり、100mを 1 分弱、距離は 4 キロから 5 キロ位を少し速めに歩いています。

多摩湖方面は、中央公園経由で空堀川でユーターンするか、川沿いを下り府中街道へ向かい戻ります。

小平方面は、萩山駅を経て小平駅の少し先でユーターンするか、小平霊園を横断して戻ります。

家の傍の野火止用水には側道がありますが、上流方面は道が狭く、車や自転車が通るので注意して散歩しています。下流は久米川ボウルまで暗渠になっており、犬の散歩道になっています。一番のお勧めは、小平霊園です。家から 15 分で霊園裏口へ到着、霊園の中をできるだけ異なるルートで歩き回りますが、たまに方向感を失うことがあります。

真っすぐな長い芝生の道、東京競馬場の直線コースのようで、芝のクッション感触が伝わります。

静寂のなかで、鳥のさえずりが響き、心地よい風が肌に当たります。

帰りは、萩山町に住む会員のお宅を次々巡りながら歩くのですが、不思議と会うことはないのです。

最近、八国山、多摩湖、玉川上水のコースを歩くようになりました。

八国山は、正福寺か白十字病院に車を駐車し、丘を登りますが、西武園、松ヶ丘高級住宅地、水天宮方面へ適当に歩き回っています。

子供の頃の山道は狭く、薄暗く、マムシもいて不気味でしたが、すっかりハイキングコースに整備され、明るく歩きやすくなり、土日は親子連れでにぎわっています。

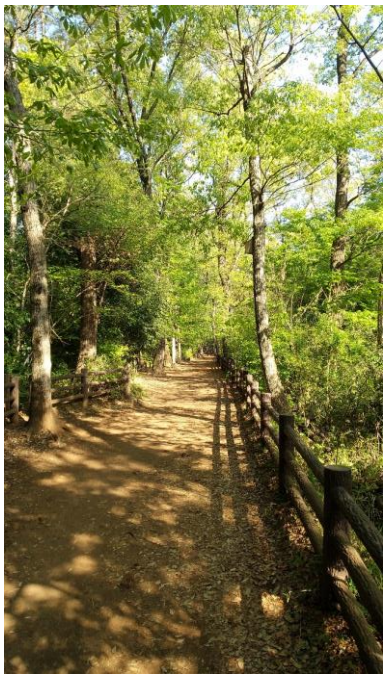
多摩湖へは、自転車を多摩湖入口に駐輪し、そこから適当に山道を選んで歩き回り、気分次第で堤防を渡りますが、坂の上り下りを繰り返すので、心肺への負荷が大きく健康にはよさそうな感じがします。

最近、若い女性の一人歩きに出会いますが、ブームなのでしょうか。

玉川上水は、小平中央公園に隣接するので、車を公園に駐車(無料)し、上流へ歩くと創価、白梅、朝鮮大、、小平西高などの学校があり、時間帯により混雑しますが、江戸時代からのケヤキの大木がみられます。

下流も同じような景観で、多摩川から豊富な水が今でも流れています。

散歩は、自由な時間に一人ででき、しかも、お金を掛けずに健康が保てますので、新たなルートを発掘しながら続けていきたいと思います。



右側は玉川上水

＜斉藤 忠義　記＞

新会員紹介♪

轉法輪 言君（昭和 55 年　法学部卒）

初めまして。昨年 7 月に入会しました轉法輪 言(てんぽうりん げん)と言います。昭和 55 年法学部政治学科を卒業しました。

学生時代は、ｻｰｸﾙ活動中心に過ごし、「能楽研究会観世会」という能楽を楽しむｻｰｸﾙに所属してました。塾出身のﾌﾟﾛの能楽師の先生の指導を受けながら 4 年生で能を一曲舞わせていただいた事が私の学生時代の貴重な経験と想い出となってます。

私の名前が変わっているので、名前にまつわるｴﾋﾟｿｰﾄﾞは数多ありますが、実家は三重で浄土真宗本願寺派(西本願寺)の寺です。

私は、次男のため「要らない子」なので、東京に大学で上京してそのまま現在に至っています。

趣味は、習字、抹茶(抹茶道具収集、お手前)、ｶﾗｵｹ、洗車、音楽鑑賞(ｸﾗｼｯｸ～演歌まで) 以上簡単に自己紹介をしましたが、皆様に会える日を楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。

坂井敏夫君（昭和 48 年　経済学部卒）

昨年 6 月に幹事長の田中様から入会お誘いのお手紙を頂き入会させていただきました清瀬市在住の坂井敏夫（S48 年経済卒）です。

本籍は港区南青山ですが、清瀬市には中学２年の時に越してきて現在まで５０数年経ちます。

小・中・高校と教育大学附属（現在の筑波大学附属）を経て慶應の経済学部を卒業後、銀座に本社のある資生堂に入社、定年退職後は長瀬産業に再就職しその後マンションのコンシェルジュとして３社目の大京アステージにて現在週３日勤務しています。

大学時代はアレックスというテニスの同好会でほぼ毎日テニスに明け暮れていました。（当時学園紛争等で大学が封鎖されて授業がなかった為）

私の趣味はかなり多いのですが、一番はテニスで１２歳からラケットを握り今でも週２～３日はテニスコートに通っています。その他スポーツ全般、中でもマラソン、野球、ゴルフ、卓球を。手品、コーラス、カラオケ、麻雀、回文作成、献血（６９歳で２８２回にて終了）とボランティア活動等で広く、深く、継続することが私のモットーです。

また、東京２０２０オリンピック、パラリンピックの大会ボランティア、都市ボランティア、外国人おもてなし語学ボランティアの活動にも参加しています。

コロナ禍に晒されている今、唯一の楽しみは愛犬（ビーグル）との触れ合いで、毎日朝夕の散歩（約３時間）とビーグル仲間とのオフ会への参加になります。

こんな私ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

松本廣一君（昭和 48 年　商学部卒）

東村山三田会のみなさま、はじめまして。東大和市在住の松本廣一です。

昨年幹事様からお誘いを受け、本会に加入させていただくことになりました。コロナ禍のためご挨拶の機会が持てませんでしたが、何卒よろしくお願いします。

住所地は隣市ですが、東村山中央公園や北山公園などを散歩等で利用しており、東村山市には馴染みを感じております。

今後コロナの収束が見えて来ましたら、みなさまとともに同好会活動として、「あるいて三田会東村山」（1 回参加）と「スケッチ会」に参加させていただければと考えております。

昭和 48 年商学部卒業で、在学中は美術団体の「パレットクラブ」に在籍していました。現在は公募美術団体のモダンアート協会と東大和市美術会に所属しています。

どうぞ今後のお近づきをよろしくお願いします。

木村　守君（昭和 48 年　商学部卒）

ご多忙につき、原稿が間に合わないとの連絡を頂いております。

東大和市にお住まいです。

コロナ収束後に再開される三田会行事でお会いできることを楽しみにしております。

同好会通信♪

☆慶美会(スケッチ同好会）☆　（７名）

【世話役　清水英男（S38 年卒）　連絡先　hidshim@jt.ejnet.ne.jp　TEL　090-2655-9231】

昨年２月１日に新年会を開催して以来今日まで、コロナ禍の下残念ながら休会状態を続けています。高齢者の多い会ですので止む得ぬことと思いますが、そのためご報告できる活動は一切ありません。

そういう中で、昨年新しくお二人の方から入会希望がありました。大変嬉しいことですが、未だ顔合わせが出来ないことが残念です。

ついては誌面をお借りし、現メンバーのご紹介を兼ねて、極く簡単に近況報告をさせて頂きます。

大先輩の佐藤、千保両先生は、長く続けておられる東村山医師会の美術会活動も全て中止となり、「巣籠り生活の毎日で足腰が弱くなった」と嘆いておられますが、お元気でお過ごしです。

堀川さんは､塾生時代に買い集められた昭和３４年～３７年に発行された平凡社の世界名画全集全２５巻、別冊５冊、続編１６巻を観ながら、青春時代を偲んで素敵なステイホームを楽しんでおられます。描く方は少しお休み？

何時も油絵の大作を描かれている大滝さんは、不測の体調不良で３月に４週間の入院生活をされたとのことですが、今はお元気でお得意の漫画を描いたりパソコンでの囲碁対局やお料理を楽しんでおられます。

唯一若手の細川さんは､現役のエンジニアとして勤務されながら､土休日は湘南の海を描きに出掛けたり、メキシコの建築家ルイス・バラカンの写真集を見て絵を描いたり、アコーステイックギターの練習や東村山美味しいもの廻り（テイクアウト）等々超アクテイブな日々を過ごされています。勿論全てのコロナ対策は十分しているのでご心配無きようとのことです。

私も、１０年来仲間と活動しているスケッチの会がコロナ禍と高齢化で一旦解散となり、月２回のスケッチ会や年１回の作品展も全て中止で、自粛の日々ですが、散歩のついでに正福寺や北山公園で簡単なスケッチをしています。

メンバーの皆様がワクチン接種を終わり、世の中もそれなりに沈静化してきましたら、当同好会も新しいお二人を迎えて開催出来ることを願っています。秋頃に出来れば良いのですが。　　＜清水 英男　記＞

☆俳句同好会☆（10 名）

【世話役　佐藤嘉江子（S57 年卒）　連絡先 kae_ztjjz@yahoo.co.jp　TEL　090-1734-7582】

驚いたことに、俳句を始めて丸九年を超えた。十年目である。なのに相変わらず進歩も上達もない。毎月、句会の前日に慌てふためいて三句をひねり出すという体たらくなので、進歩も上達もないのは自明の理。こんな世話役で、会にご参加くださっているみなさんには、申し訳ない限りだ。

そもそも私が俳句を始めたのは、当時懇意にしていた出版社の社長（よく仕事をもらっていた）が突然俳句を始めると言い出し、しかも参加する会のメンバーが私もよく知る仕事関係者で、句会の後には必ず飲みに行くとの話に、「では私も」とくっついて行ったという単純かつ不純なきっかけ。その会は、特に宗匠がい

るというわけではなく、句歴の長短はあっても、単に同好の士の集まりという感じだった。要するに「先生」がいないので、一、二年経ったら物足りなくなった。ちょうどその頃、東村山三田会で俳句同好会を作るというので、違うメンバーで句会をやりたい一心で私が世話役になったという経緯である。

幸い、各務さん、廣田さんという俳句の大先輩が参加してくださったおかげで、至らぬ世話役でも、「先生がおらず迷走」という事態を避けることができている。コロナ禍に対面で句会が行えているのも、会の皆さんが熱心に句作に取り組んでくださっているからで、感謝の気持ちでいっぱいだ。

十年も続けていて今さら言うのも変な話だが、私は本来俳句には向いていないのだと思う。俳句は、一瞬の情景や風景を切り取るものなので、いわば写真と同じ。絵的センスが物を言う。図画工作、美術の成績万年２の私に向いているわけがない。そのうえ、花鳥諷詠にはまったく興味がないときているので、俳句の王道からは大きく外れたところにいる。これまで何をやってもそこそこ自信家でいられた私だが、俳句に関してはまったく自信が持てない。だから内心やめたいやめたいと思っているのに、なぜかやめられない。やめるのがもったいない。「このネタで一句できそう」とか、つい考えている。たぶん俳句に取り憑かれているのだろう。

こんな、一度始めたら足抜きならぬ不思議な世界に来てみませんか？　最初は見学だけでも OK です。

踏切の音やわらかし春霞	丸女
春暁のホテルに聴けり古都の鐘	千枝子
小春日や生垣越しの立ち話	凡水
句に迷ひてにをは捏ねる夜長かな	弦六
凪の海水平線へ月の道	岳徒
一年を湯の香に乗せて冬至かな	蓑
噴水や手のひら翳し涼求め	俊哉
小春日や水面に映える紅や碧	正典
大きめのランドセルにも若葉雨	栗丸
雪はげし深夜に無言電話受く	かえる

＜佐藤 嘉江子　記＞

☆あるいて三田会東村山☆　（15 名）

【世話役　鈴木　実（S49 年卒）　連絡先　minoru_s@1975.jukuin.keio.ac.jp　TEL　090-6539-8336】

全国の小中高に休校要請　緊急事態宣言、延期　２回目の緊急事態宣言、延期まん延防止等重点措置３回目の緊急事態宣言、延期　・・・・・・？

思えば、昨年１月２３日の武漢市の都市封鎖に始まり、２月３日の横浜港に帰港したクルーズ船乗客・乗員への感染が判明し、そのあとは繰り返し自粛、自粛の呼び掛け、気がつけば閉門蟄居の日々が１年半にも・・・。

「あるいて三田会東村山」は、新年の七福神巡り、新緑の春、紅葉の秋に東村山周辺と都内の公園・庭園・緑地などを歩く活動をおこなっています。

しかし、コロナ禍の状況で、会員が集まって歩き、そのあとに飲食店でのランチとお酒を楽しむ―という普通の活動がほとんどできない１年半でした。

この１年半にできた活動は、コロナ感染拡大の間隙を縫ってわずか２回。

１つ目が昨年の１月２９日に実施の「武蔵野七福神巡り」で、

・武蔵境駅（スタート）→杵築大社→延命寺→大法禅寺→安養寺→武蔵野八幡宮→井の頭弁財天（井の頭公園）→吉祥寺駅（ゴール）（歩く距離は約６～７キロ）その後、吉祥寺駅近くの和食のお店でランチ（お酒も）

２つ目が１０月２９日に実施の「小金井の緑とせせらぎの道歩く」で、

・東小金井駅（スタート）→はけ→武蔵野公園→野川→野川公園（昼食は公園の芝生で、お互いの距離をとってお弁当）→東小金井駅（ゴール）（歩く距離は約６キロ）でした。

ワクチンの接種は世界の国々に大幅に遅れるなか、やっと医療従事者に継いで高齢者への接種が始まりました。

高齢者への接種は自治体によってスピードが違います。江東区に住む６０代の知人は１回目の接種を終え、６月初旬に２回目の接種が決まっている。片やおらが村（東村山）の接種スピードはノンビリ、ノンビリ・・・、接種券の送付が７５歳以上７９歳以下の方が６月送付予定、６５歳以上７４歳以下の方は予約状況等を踏まえ送付時期を決定（東村山市 HP　５月２０日現在）。

あるいて三田会東村山の皆さんも自粛、自粛の敬老の日々を過ごしていることと思います。なんとか１年半も辛抱したのだから、もうひと踏ん張り。東京五輪が終了？した８月ごろには、皆さんも接種が済み免疫ができているでしょう。

涼しくなる９月あるいは秋本番の１０月には、公園・庭園を歩き、マスク会食から開放されたランチとお酒を楽しみたいものです。なんとか活動が再開できますよう期待しています。

＜鈴木　実　記＞

☆ボウリング同好会☆（16 名）

【世話役　紿田俊哉（S43 年卒）　連絡先　t.taida-vn@i.softbank.jp　TEL　090-6540-3927】

コロナ禍、活動がままならない状況ですので、今回は、私のボウリングの思い出を書かせていただきます。

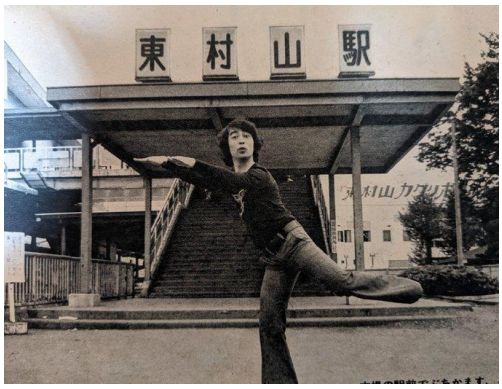
ボウリングの一番遠い思い出は、ボウリングがはやり始めた頃に兄姉と行ったことです。

多分私は小学生くらいなので 50 年以上前になりますが、当時住んでいた吉祥寺から西荻窪駅を超えて荻窪駅へ歩く途中にボウリング場ができました。本当に初期の頃で、ボウリングのピンが紐で吊ってあり、球を投げると、残ったピンを紐で上に吊り上げ、倒れたピンを掃除してまたピンを降ろします。紐が絡んで倒れるピンもあり、今から思うとかなり原始的な仕組みです。

中学生の頃はボウリングのブーム全盛期で、早朝ボウルや昼は数時間待ちという盛況でした。吉祥寺駅の周りに二ヶ所ボウリング場があり、中のゲームセンターで遊びながら順番待ちをしていたことを覚えています。駅南口のそばにあったボウリング場は、今は「東急ＲＥＩホテル」になっています。

大学でもボウリングは結構盛んで、田町駅芝浦側の「田町ハイレーン」はよく仲間と行っていました。講義より、麻雀、ボウリング、ビリヤードの方が三田にいる時間が長かったのかもしれません。

会社に入ってもボウリングを楽しむ機会は結構多かったと思います。



工場が東村山にあったことで、よく東村山駅を利用しましたが、駅前に「カクリボウル」というピンクのビルのボウリング場があったことを覚えています。今は再開発でワンズタワーがある場所だと思います。「カクリボウル」が写っている面白い写真を見つけましたのでご覧ください。

会社では同期の仲間を中心にたまにボウリングを楽しんでいましたが、徐々に規模が大きくなり、スキー部野球部対抗戦を経て、会社の福利厚生行事として年1回のボウリング大会を開催するまでになりました。その時には「田町ハイレーン」または「恵比寿グランドボウル」を会場として使っていましたが、その頃には所属が人事部で、企画・準備・運営で裏方に回っていました。

そして、三田会でボウリング同好会に参加し10年以上ぶりに再開しました。少し自慢させていただくと、ボウリング同好会の最高得点「193点」は、わたしが3年ほど前に出したものです。

現在、当会会員14名、会員の奥様1名、西東京三田会高橋副会長の合計16名がボウリング同好会に参加しています。毎月1回、月曜日に、11時半から久米川駅周辺で昼食をとり、13時頃から久米川ボウルで2ゲームを楽しんでいます。

原稿を書いている時点ではボウリング場が休業中ですが、再開したらまた楽しみたいと思っています。

＜田中 康之　記＞

☆麻雀同好会☆　（21名）

【世話役　田中康之（S52年卒）　連絡先　vvtanaka@m7.gyao.ne.jp　TEL　080-6528-0202】

麻雀同好会は、コロナ禍、活動休止の状態が続いており、もう1年以上開催できておりません。

今年の内に会合が再開されることを期待しているのですが、どうなりますか。

また、定例会場である久米川の雀荘「健康麻雀　優」は4月以降5月31日まで休業中です。（再延長か？）

今回の会報で紹介する活動実績がありませんので、改めて三田会麻雀同好会の紹介をさせていただきます。

現在の登録メンバーは、通常会員17名、女性部会4名の計21名です。

＜通常会員＞

三田会麻雀同好会は、2014年6月に第1回の会合を持ちました。

そこから、ほぼ毎月1回麻雀を楽しみ、昨年2月までで61回の開催実績があります。

毎回、4の倍数の8名あるいは12名の参加で開催しています。
年2回、納涼会、新年会を開き、楽しくお酒を飲んでいます。
毎月の定例会が終わった後の有志での飲み会もあり、こちらも楽しみにしています。
また、東村山稲門会との交流として慶早戦を今までで4回開催し、成績は慶應の3勝1敗です。
＜女性部会＞
会員の奥様方からの要望を受け、2019年6月から、女性部会を開始しました。
参加メンバーは今のところ4名ですが、初級者がいらっしゃるので、毎回、2～3名の男性がサポート役として後ろについて、打ち方を指導しながらの対戦です。
こちらも毎月1回麻雀を楽しみ、終了後、旦那さんも合流しての懇親会を開いています。
昨年1月までで8回開催しましたが、こちらもコロナ禍、同様に1年以上開催できていません。

ワウチン接種が進み、コロナが落ち着き、前のように麻雀を楽しめる日が待ち遠しいです。
その日に向けて、新たな会員を募集しています。
学生時代に麻雀を楽しんだ方、初心者だけど始めてみたい方など、一緒に麻雀を楽しみませんか。
女性部会では、女性会員の方、会員の奥様方の参加をお待ちしています。
初心者の方でも、サポート役が後ろで打ち方を指導しますので、楽しみながら麻雀を覚えていただけます。
腕に自信のある女性の方は、通常会員（一軍メンバー）との対戦に入っていただくことも大歓迎です。
麻雀を楽しみ、終わった後の飲み会が再開できる日を楽しみに、今を乗り切りましょう。

＜田中 康之　記＞

☆ゴルフ同好会☆　（14名）

【世話役　阿蘇　秀男（S49年卒）　　連絡先　nadeshiko.aso.1710@jcom.home.ne.jp】
コロナ禍により中活動休止中

☆カラオケ同好会☆　（20名）

【世話役　斉藤 忠義（Ｓ44年卒）　連絡先　yasaka_kumegawa@yahoo.co.jp　TEL 090-7005-9959】

コロナ禍ということで活動休止中ですが、実はコロナ禍以前から活動が停滞しています。
2016年7月開催の写真です。
毎回10人前後参加しておりましたが、この人数では歌える曲数は少なく、徐々に参加者が減少し３，４人となり、開催も隔月になってしまいました。
当会だけではなく、会員数が倍近い稲門会も単独開催では寂しい状況になっているようです。
会員数が3倍の所沢三田会には、何故かカラオケ同好会はないのです。

カラオケは典型的な３密なので、参加者のワクチン接種を条件にしても開催して良いものか、他団体の様子を見ながら再開ということになると思います。

＜斉藤 忠義　記＞

☆食べあるくかい？(グルメの会)☆ （20 名）

【世話役　櫻井正廣（S46 年卒）　連絡先　msgemini30@gmail.com　TEL　090-1767-1617】

コロナ禍により活動休止中

☆今後の活動の予定☆

2021年7月開催予定の誕生会、バスツアーは中止としました。

2021年10月17日　連合三田会大会（オンラインで開催）

2021年10月31日　第10回デュオの会コンサート協賛

2021年11月20日　第14回誕生会

2021年12月17日　クリスマスパーティー

☆会員の情報☆

会員数　　82 名（6 月 1 日現在）

退会会員　大木耐三さん、望月慎太郎さん

会員通信　原稿募集！！

会員の皆様からの原稿や写真を募集致します。テーマは「塾、東村山」を始め、特に限定は致しません。掲載の可否は役員会で決定致します。誌面の都合上写真の取捨選択を含め若干の手直しをお任せ頂きたいと存じます。文字数は 200～400 程度で「氏名、卒年、学部」を添えて次の応募先に応募してください。

郵　送：〒189-0014　東村山市本町 3-9-10　東村山三田会　会員通信 原稿応募係　廣田眞一

メール： higasimurayama_mitakai@yahoo.co.jp

ホームページ　投稿募集！！

同様に、ホームページ掲載する会員の皆様からの原稿や写真を募集しています。

テーマは自由で、字数や写真枚数の制限は会報より大きく、かなり自由な表現が可能です。

投稿される方は、ホームページ担当（田中）までご連絡ください。

メール： vvtanaka@m7.gyao.ne.jp

編集委員　廣田眞一・斉藤忠義・田中康之